

第 34 回 刈谷市都市交通協議会 議事概要

- 日 時：令和7年3月18日（火）14:00～16:00
 ■場 所：刈谷市役所7階 大会議室
 ■議 題：

- 1 公共施設連絡バス「かりまる」の再編について
- 2 刈谷市都市交通戦略の改定について

■報告案件：

- 1 国土交通省 令和6年度共創・MaaS 実証プロジェクト「刈谷放課後子育てMaaSプロジェクト」について
- 2 刈谷駅北口におけるウイングデッキ整備事業について



■出席者：

委員号数	所属（役職）	氏 名	出欠
第1号委員	中部大学 工学部 都市建設工学科 教授	磯部 友彦	○
第1号委員	大同大学 工学部 建築学科 土木・環境専攻 准教授	樋口 恵一	○
第2号委員	トヨタ紡織(株) 総務部 総務室長	亀井 隆	○
第2号委員	トヨタ車体(株) 総務部 総務室長	宮地 哲也	○
第3号委員	名古屋鉄道(株) 地域連携部 交通サービス担当課長	高井 勇輔	代理 (上野由貴)
第4号委員	(社) 愛知県トラック協会西三支部刈谷部会 部会長	出口 達也	欠席
第4号委員	愛知県タクシー協会 副会長	横山 宜幸	○
第4号委員	(公) 愛知県バス協会 専務理事	小林 裕之	欠席
第4号委員 兼第5号委員	名鉄バス(株) 運輸本部 首席 交通企画官	後藤 泰之	○
第6号委員	刈谷市自治連合会 副会長	根来 辰男	○
第6号委員	女性の会連絡協議会 書記	加藤 亜佐子	○
第6号委員	刈谷商工会議所 専務理事	岡田 行永	欠席
第6号委員	一般社団法人 刈谷青年会議所 理事長	中川 智揮	○
第6号委員	かりや消費者生活学校 運営委員長	作田 美乃利	オンライン
第7号委員	中部運輸局 愛知運輸支局 首席運輸企画専門官	宮川 高彰	○
第8号委員	愛知県交通運輸産業労働組合協議会 幹事	川畑 竜八	代理 (神野利和)
第9号委員	刈谷警察署 交通課長	山口 航平	○
第10号委員	愛知県 知立建設事務所 企画調整監	丹羽 照元	欠席
第10号委員	刈谷市建設部長	水野 秀彦	○
第11号委員	愛知県 都市・交通局 交通対策課長	山田 浩之	オンライン代理 (松岡直人)
第11号委員	愛知県 都市・交通局 都市基盤部 都市計画課長	伊藤 慎悟	代理 (三宅安)
第12号委員	刈谷市都市政策部長	竹内 健人	○
オブザーバー	国土交通省中部地方整備局建政部都市整備課長	後藤 直紀	オンライン代理 (加藤練志)
オブザーバー	刈谷市企画財政部長	岡部 直樹	○
オブザーバー	刈谷市産業環境部長	伊藤 雅人	○

(事務局)：都市政策部都市交通課 都築課長、近藤課長補佐、内藤次世代モビリティ推進係長、岡田公共交通係長、五明主査、岡田主査、加藤技師、清水技師

■意見概要（発言順）：

議題1 公共施設連絡バス「かりまる」の再編について

	主な意見	回答
1	<ul style="list-style-type: none"> ・刈谷市の母子手帳アプリ「はぴかり」を使い、無料乗車券を配付するなどの連携は可能か。【樋口副会長】 	<ul style="list-style-type: none"> ・業者決定後に協議することになるが、アプリ開発の費用も想定され、将来的な連携を検討したい。【事務局】
2	<ul style="list-style-type: none"> ・要支援1～2や要介護1～3への対応を危惧するがどうか。【樋口副会長】 ・要支援2以上の方に対して、タクシー券の配付で十分かという議論と、フレイル層になる前の対策として、利用しやすい運賃体系を検討されたい。【樋口副会長】 ・ケアマネージャーが公共交通を知らないことが多く、ケアプランを出す際に公共交通を利用いただくようコーディネートいただくと良い。【樋口副会長】 	<ul style="list-style-type: none"> ・要支援、要介護の認定をされた方には長寿課で支援をしている。要支援2以上の方にはタクシー券の配布を行っている。【事務局】 ・フレイル予防の重要性は認識している。頂いた意見を参考としたい。【事務局】
3	<ul style="list-style-type: none"> ・乗降客数の集計について、無料乗車の方の集計についてはどう考えるか。【磯部会長】 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者手帳の方や小学生の乗降のチェックは、運行事業者より安全運行が確保できないという懸念を聞いている。将来的にはAIカメラを使ったカウントなど運転手の安全運行をサポートしていきたいと考えている。【事務局】
4	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者はアプリ利用が得意ではない。市でサポートする仕組みを考えて頂けると助かる。【根来委員】 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来的にクーポンを受け取るなど乗車を楽しむ付加価値のためにもアプリの利用を促したい。来年度コンシェルジュデスクやヘルプデスクを設けるなど、専用窓口で対応する予定である。【事務局】
5	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者の割引方法について“「①障害者手帳の提示等」を中心に検討”となっているが、その考え方がまとまった経緯を教えてください。データ収集の点では、「②無料乗車券のタッチ」や「③キャッシュレスアプリ」を利用頂き、出来ない方は「①障害者手帳の提示等」を選択頂くことでも良いのではないかと。選択の幅を広げる点は賛成である。【樋口副会長】 ・例外的に様々な選択肢を用意するという説明の方が良いという意見が出たため、再度検討をお願いしたい。【磯部会長】 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害の担当部署とも協議する中で、「②無料乗車券のタッチ」が出来ない方や、「③キャッシュレスアプリ」を使えない方もいるため、障害者にとって負担の少ない「①手帳の提示等」が中心と考えた。【事務局】
6	<ul style="list-style-type: none"> ・無料乗車券の上限配付数は決まっているのか。また、受取の際の照合方法など準備状況を伺いたい。【上野委員】 	<ul style="list-style-type: none"> ・無料乗車券の枚数の上限は定めず、タッチすると無料で乗れる定期券を考えている。配布方法は、75歳以上の対象者全員に郵送することを考えている。運転免許返納者や障害者は窓口やアプリ上で申請してもらうことを考えている。中学生以下は、目視での確認となるが、教育委員会と協議し、中学入学から卒業までの期限

		を設定した無料の定期券を配布することを考えている。【事務局】
7	・資料1の10頁について、印(◎、○、△)が付いている箇所は、各利用者が自身に合ったものを判断して利用可能であり、◎印から順番に利用者に勧めるという考え方で良いか。【宮川委員】	・指摘のとおりであり、印の付け方について協議会で議論を頂きたい。樋口副会長の意見を含め改めて検討する。【事務局】
8	・運転免許返納の定義について、高齢の方のみではなく若年の方でも無料になるのか。定義を教えて欲しい。【樋口副会長】	・高齢者に限定せず、運転免許返納者は無料とすることを考えている。ただし、不適正利用の可能性もあり、定期的な更新制を考えている。【事務局】
9	・運転免許返納者は、事務局では知りえないため、警察で運転免許返納時に個人情報の同意をとり、情報をやり取りする等は出来ないか。【樋口副会長】	・個人情報の観点から情報のやり取りは厳しいと思う。ただ、窓口でチラシを置いて返納の申請に来た方に案内をすることは可能である。【山口委員】
10	・10頁の印が付いていない空欄の箇所については、対応しないということか。【横山委員】	・基本的には印を付記した箇所で運用していくが、想定していないことも起こると思うため、個々の事象に応じて検討していきたい。ただし、運転手の負担軽減という観点から、表の空欄箇所については、現時点では運用予定はない。【事務局】
11	・運転手の負担軽減の配慮とのことである。10頁の表は一つの結果であるが、その背景の考え方としてはキャッシュレスアプリが一番優れており、例外的な対応をする場面も出てくるということである。【磯部会長】	・空欄部分で△印が出てくる可能性もある。個々の状況に応じて、利用者・運転手の両側面から総合的に考えて進めていきたいと思う。【事務局】
12	・1つの例として10頁の表があるが、考え方はしっかり持って、今後の作業を進めて頂きたいと思うが、承認いただけるか。【磯部会長】	・賛成【全委員】⇒承認

議題2 刈谷市都市交通戦略の改定について

	主な意見	回答
1	15頁の公共交通(鉄道・バス)カバー状況について、タクシーも入れて欲しい。【横山委員】	・カバー率については鉄道とバスで整理しているが、都市交通戦略では地域公共交通計画の内容をしっかり組み込ませる考えを持っており、タクシーも重要な公共交通として計画に位置づけたいと考えている。【事務局】
2	・交通量が減って渋滞が増加した件についてどう捉えているか。【横山委員】 ・警察ではどう把握されているか。【磯部会長】	・みなさんが安全運転を徹底されているなどが想定されるが、要因は分からない。【山口委員】 ・要因の分析は出来ていないが、データから低速化の傾向があり、要因のひとつと考えられる。信号現示は変わっていないが、例えば車間距離を確保する、発進時にゆ

		<p>つくり発進をする等が想定される。来年度検証したい。【事務局】</p>
3	<p>・バスの利便性増加は喜ばしいが、市内の道路は1車線が多く、バスが停車した際に追い越せず、渋滞が発生しているように感じる。事務局で考えや数字を持っているか。【加藤委員】</p>	<p>・現状、バスを起因とする渋滞発生へのデータは取れていない。市内では車が集中する朝や夕方に交通量が増え、バス自体も遅延が発生している状況がある。道路幅員等も考慮した中で、バス停の設置箇所は検討していく必要があると考える。第2次都市交通戦略では車から公共交通への利用転換を掲げ、車の総量や渋滞減少を目標としていく。バスだけでなく、自転車など他の交通も含め包括的に施策を考えたい。【事務局】</p>
4	<p>・刈谷市の特性から、渋滞の要因は通勤時の交通量増加が主要因と思う。一方で企業アンケートのエコ通勤への関心・協力は少ない結果であるが、刈谷駅1.5km圏内の企業では鉄道の割合が高く、特にNo.25の企業は鉄道が65.6%と高く、エコ通勤に成功している企業である。この企業の成功の要因を他の企業に波及させていく取組みが出来ないか。熊本都市圏における取組みを参考に、具体的な数値を掲げ、公共交通に転換することや通勤時間をずらす等の取組が重要だと思う。また、渋滞が減る実感を持つためにノーマイカーデー等のイベントも大事だと思う。【樋口副会長】</p>	<p>・企業アンケートについて、かりまるの改善要望や公共交通への関心が低い結果が出ているが、これは現状でバス路線がないことなどが要因とも考えられる。今後は企業に対してモビリティ・マネジメントを展開していくことが必要と考える。【事務局】</p> <p>・企業アンケート調査結果を踏まえ、企業に対して個別にヒアリングを行うことを考えている。【事務局】</p>
5	<p>・自転車利用について、学生の交通安全面の課題が出てくると思う。ソフトの教育なども意識した施策を考えて頂きたい。【樋口副会長】</p>	<p>・市民アンケートより、若い世代において自転車走行空間の確保に対する需要がある。安全教育を含めて検討を行う。【事務局】</p>

報告案件1 国土交通省 令和6年度共創・MaaS実証プロジェクト

「刈谷放課後子育てMaaSプロジェクト」について

	主な意見	回答
1	<p>・実験に参加した当社乗務員はお子様との触れ合いがあり大変良い機会であった。また、グローバルな企業の技術などを子どもたちに伝える貴重な機会であった。刈谷市では子育て世代の転出が多く、刈谷の魅力として公的な補助を表明し、子どもたちの安全と安心の支援を頂きたい。【横山委員】</p>	<p>・この取組は、無料、有料と2年実証してきた。来年度は、そのフォローアップとして関係者と事業化について協議し、子どもの移動や放課後教育をどのようなサービスとして根付かせていくか検討していく。【事務局】</p>

報告案件2 刈谷駅北口におけるウイングデッキ整備事業について

	主な意見	回答
1	<ul style="list-style-type: none"> 令和8年2月に路線再編を行う「かりまる」は、再編後すぐにウイングデッキ整備事業による通行規制の影響を受けるといことになるのか。【宮川委員】 	<ul style="list-style-type: none"> 「かりまる」については、令和8年2月の再編当初から、迂回ルートでの運行開始を予定している。【事務局】
2	<ul style="list-style-type: none"> 予め計画があり、バス路線に影響することであれば、利便増進計画にも反映する必要がある。【宮川委員】 	<ul style="list-style-type: none"> 利便増進計画の検討でも反映することを検討する【事務局】
3	<ul style="list-style-type: none"> ウイングデッキ整備事業による通行規制は、タクシーの利用者にとっても往復で利用料金が違うなど影響が出ると考えられる。市に対しては誰もが分かるように周知をお願いしている。【横山委員】 	<ul style="list-style-type: none"> 駅利用者をはじめ、デジタルサイネージなども活用しながら周知に努めていきたい。【事務局】
4	<ul style="list-style-type: none"> 交通政策として、公共交通の促進と自動車の規制の両輪でやっていく必要があり、この通行規制をきっかけに企業モビリティ・マネジメントを推進してはどうか。【樋口副会長】 	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地は通過交通の課題もある。道路建設課と確認しながら周知を検討していきたい。【事務局】
5	<ul style="list-style-type: none"> ウイングデッキ整備事業による通行規制に関しては、定時性の確保や乗務員の連続常務の問題などに対応しているが、自助努力では対応できない部分もあり、市に相談させて頂きたい。駅前についてはマイカー送迎に時間制限を設けるなど、バス運行に影響が出ないように対応を図っていただきたい。【後藤委員】 	—
6	<ul style="list-style-type: none"> 会社や施設への交通アクセス案内についても、市が中心となって関係者に協力を要請するように検討をお願いしたい。【磯部会長】 	—